

新春のつどい

南極との中継



写真は鈴木隊員から『新春のつどい』
のために提供された映像より

2018年1月13日 (土)

2015年度国内奨学生鈴木裕子さんとの交信 (58次越冬隊)



当協会は今年奨学事業70周年を迎えました。
その記念として「学ぶよろこび 育つたのしみ」と題する
記念誌を発行しました。

その記念誌に2015年度の国内奨学生である鈴木さんが
南極から原稿を送っていただきました。
添付されていた「オーロラ」の写真に魅了され、南極との
中継を思い立ち、「新春のつどい(奨学金贈呈式)」の日
会場と南極を結び、南極から生中継を行いました。

第58次越冬隊は33名
内女性は6名 過去最高とのことです。

越冬隊長 1名

観測部門 14名

(気象、宙空、気水、地圏、生物)

設営部門 18名

(機械、通信、調理、医療、建築

環境保全、多目的アンテナ、

LAN・インテルサット、野外観測支援、庶務)

鈴木さんは宙空に属し、オーロラ・空の研究をされています。
(奨学生に選ばれた時は「雷の研究」です。)

隊長室からの眺め

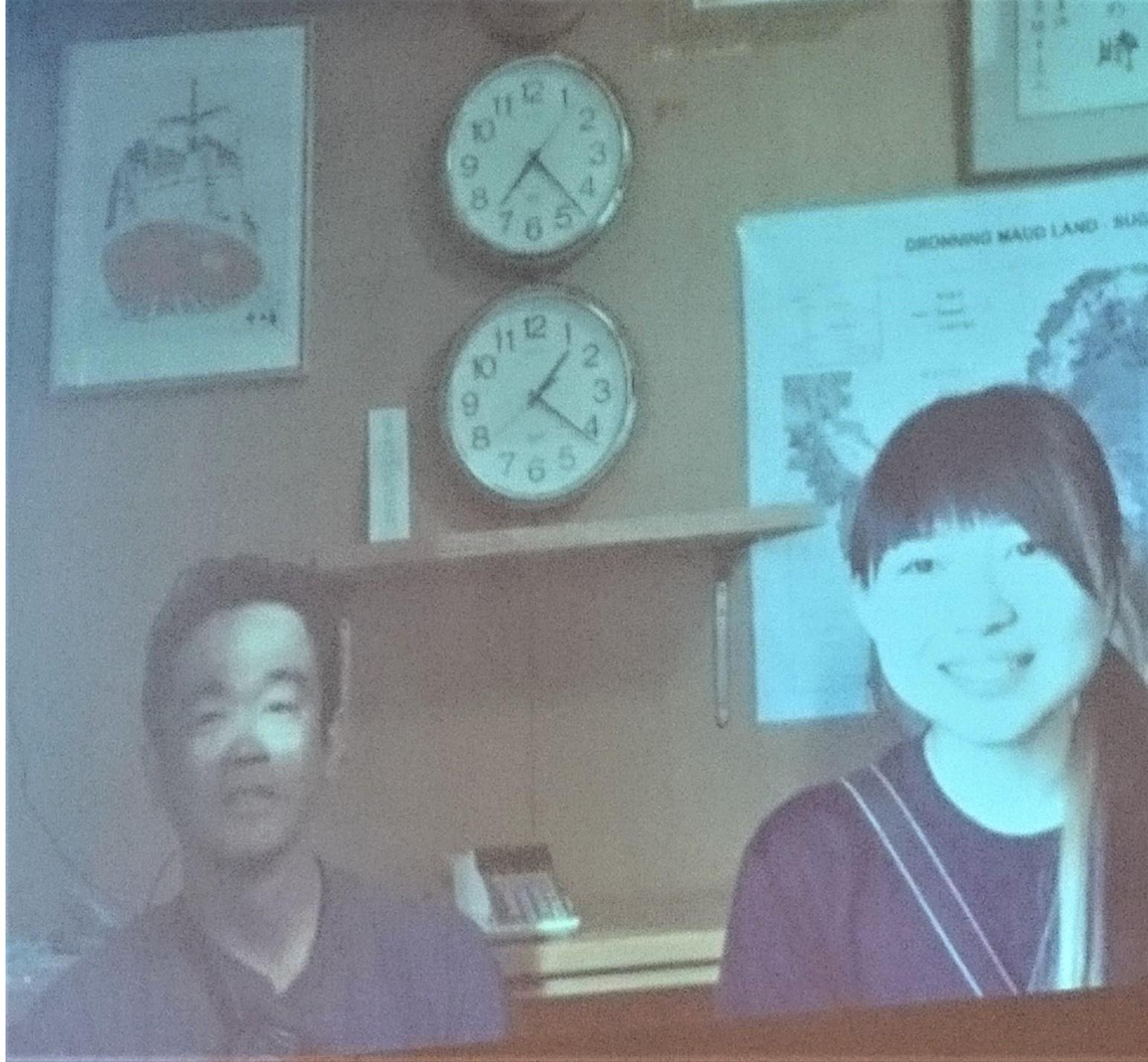
(右上は会場風景)



日本との時差 6時間

上：南極
下：日本

同じ観測隊員の
土屋さんです。
(白夜焼けされています)



みなさん
楽しそうに
ご覧になっています！！



皇帝ペンギン (5年前昭和基地にやってきた)



写真は鈴木隊員から『新春のつどい』のために提供された映像より

昭和基地で見たオーロラ



写真は鈴木隊員から『新春のつどい』のために提供された映像より

昭和基地で見たオーロラ



写真は鈴木隊員から『新春のつどい』のために提供された映像より

どこの国にも属さない南極で

このような観測がずっと続くよう

平和の大切さをかみしめた機会でもありました。

みなで手を振って中継を終わりました。

